

令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告

令和3年度は、甲府市社会福祉協議会創立70周年を迎える節目の年度でありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、社会経済活動や地域活動に多大な影響を受ける中、感染防止対策を講じながらの事業執行となりました。

特にコロナ禍による景気悪化の影響で生活困窮や事業低迷に陥った住民に対する支援として、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付、食料品や生活用品をNPO等を通じて子ども支援等に活用されるフードアプリケーションプラスを実施するなど、生活支援に積極的に取り組みました。

また、甲府市と共同で策定した「甲府市地域福祉推進計画」をはじめ、関係する諸計画に掲げる施策と各事業の推進を図るため、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の関係団体をはじめ、行政や地域包括支援センター等と連携した活動を展開してきました。

「甲府市地域福祉推進計画」の数値目標設定事業の実施状況は次のとおりです。

令和3年度地域福祉推進計画数値目標設定事業実施状況

| | 項 目 | 令和3年度 数値目標① | 令和3年度 実績② | 比較②-① |
|---|------------------|----------------|--------------|---------|
| 1 | ボランティア活動機材の貸出件数 | 24 | 26 | 2 |
| 2 | いきいきサロンの年間延べ参加者数 | 52,500 | 32,413 | △20,087 |
| 3 | 合同会議及び研修会等の開催回数 | 160 | 170 | 10 |
| 4 | ボランティア登録団体数 | 134 | 134 | 0 |
| 5 | ブロックだよりの発行回数 | 15 | 15 | 0 |
| 6 | ふれあい交流フェスタ参加者数 | 701 | 事業中止 | — |

(令和4年3月31日現在)

1 住民主体による地域福祉活動の推進

(1) ふれあいのまちづくり事業

昨年度に引き続き、新型コロナ感染拡大防止のため、地区社会福祉協議会が行う各種事業や会議が制限される中、市内5ブロックに配置した6名のコミュニティソーシャルワーカー¹ (CSW) が、各地区での住民主体による支え合いの地域づくりを行うとともに、住民からの相談や福祉課題に対応し、地域福祉の推進と充実に努めました。

ア 福祉のまちづくり推進事業

子どもから高齢者、障がい者など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、新型コロナ感染状況を配慮する中で、「住民

¹ コミュニティソーシャルワーカー (CSW) は、制度の狭間などの個別の課題に対応し、個別の課題を地域の課題として捉え、地域住民や関係機関とともに課題解決に向けて取り組みます。

参加による地域福祉活動」や「小地域ネットワーク活動」が、地域の実情に即した取り組みとして実施できるよう、情報提供や助言等を行いました。

(ア) 住民参加による地域福祉活動

地区社会福祉協議会が事業主体となり取り組む「住民参加による地域福祉活動」は、年度当初、全地区で42事業が計画されましたが、「計画どおり実施」が24事業、「代替事業での実施」が11事業、「中止」が7事業となり、昨年度に引き続き事業の開催が困難な状況ではありましたが、テイクアウトによる子ども食堂の開催や、ウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会等の屋外での事業に代替するなど、コロナ禍での人と人との繋がりに配慮した活動が行われました。

また、地域住民への啓発を図る地区社協だよりの発行支援や、地区社会福祉協議会からのコロナ対応への相談等に応じ、情報の提供や助言を行いました。

(イ) 小地域ネットワーク活動

年度当初、全地区で52事業が計画されましたが、「計画どおり実施」が35事業、「代替事業での実施」が1事業、「中止」が16事業となりました。

コロナ禍により、合同会議や福祉推進委員会などの開催が制限されましたが、こうふ社協だよりの「まごころ」やコミュニティソーシャルワーカーが発行する「ブロックふれす」などにより、「ゆるやかな見守り」及び「感染拡大防止に配慮した活動」などについての情報提供、助言等を行い、各地区での見守り・声かけを基本とした小地域ネットワーク活動の継続に努めました。なお、職員が参加した地区社会福祉協議会が主催する合同会議や研修会等の開催数は、次のとおりです。

中央ブロック：22回、東ブロック：17回、西ブロック：20回
南ブロック：44回、北ブロック：22回 合計125回

(ウ) 福祉人材の育成

第13期福祉推進員の任期満了に伴い、新たに第14期福祉推進員の委嘱を行い、新型コロナ感染拡大防止の観点から参加人数を制限し、委嘱式の際に開催していた福祉推進員研修会は中止としました。また、福祉推進員全体研修会及び地区福祉推進員代表者会議については、実施を計画しましたが、新型コロナ感染拡大により開催を中止としました。なお、福祉推進員の研修については、集合研修に替えて、ブロック担当職員が各地区に積極的に出向き、福祉推進員の役割や小地域ネットワーク活動についての説明を28地区で行いました。

・第14期福祉推進員委嘱式

日 時 令和3年4月22日（木）午前10時30分
場 所 甲府市総合市民会館 芸術ホール
内 容 第14期福祉推進員委嘱状交付

イ ブロック会議、合同会議への支援

各ブロックの地区社会福祉協議会が主体となり開催するブロック会議については、幹事地区打ち合わせ会を行い、2月から3月にかけての開催を決定しましたが、新型コロナの急速な感染拡大時期と重なり、会議の開催を次年度に延期しました。

また、各地区における合同会議については、ブロック担当職員が地域包括支援センターや甲府市地域保健課と協働し、コロナ禍における各地区の課題解決等に向けて取り組みました。

- ・ブロック会議幹事地区打ち合わせ会
日 時 令和3年11月29日（月）午前10時
場 所 甲府市男女共同参画センター
内 容 令和3年度ブロック会議の開催及び議題等について
- ・令和3年度ブロック会議幹事地区
富士川地区、東地区、穴切地区、大国地区、千塚地区

ウ 心配ごと相談事業

甲府市役所本庁舎4階に設置されている心配ごと相談室において、市民の日常生活における悩みごとなどの相談に6名の相談員が対応しました。

また、地域福祉推進課では、市民から寄せられる生活上の困りごとや地域福祉に関する相談に、6名のコミュニティソーシャルワーカーが対応しました。

(ア) 心配ごと相談室の運営

市民の日常生活における悩みごとに対し、民生委員・児童委員や保健師等の有識者が輪番制により対応し、問題解決が困難な相談につきましては、他の専門機関等と連携を図り、解決に向けて相談・援助を行いました。

また、相談への対応については、新型コロナ感染拡大防止の観点から原則として面談による相談を中止とし、電話での対応としました。

・心配ごと相談室の開設状況

| | | |
|------|---|-------------|
| 開設日時 | 月～金曜日 | 午後1時～4時 |
| 開設日数 | 242日 | |
| 相談者数 | 543名 | (昨年度比 64名増) |
| 相談件数 | 558件 | (昨年度比 40件増) |
| 相談分野 | 精神保健問題228件、苦情問題59件、障害者（児）福祉問題55件、家族問題33件、財産問題31件、健康・医療問題26件 | |

(イ) 相談員連絡会及び研修会の開催

相談業務の適正を期するために、毎月第3木曜日に連絡会を開催し、相談事例の研究や情報交換等を行い、また、1月には、心配ごと相談員とコミュニティソーシャルワーカー合同の研修会を開催し、相談業務の向上に努めました。

・連絡会

日 時 毎月第3木曜日 午前10時
場 所 甲府市男女共同参画センター

・研修会

日 時 令和4年1月20日(木) 午前10時
場 所 甲府市男女共同参画センター
講 師 日本相続知財センター山梨支部 外川克元 氏
演 題 「相続」と「遺言」と「認知症対策」について

(ウ) 心配ごと相談室の広報

ホームページや甲府市広報に掲載するとともに、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会及び甲府市福祉センター等指定管理施設にチラシを配付し、広報活動を行いました。

エ 虐待防止啓発事業

今年度は、「児童虐待防止」をテーマとして市全域を対象とした啓発研修会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により開催を中止とし、研修会の代替として、「児童虐待防止啓発のためのチラシ」を作成し、コロナ禍で各地区の会議等の開催が減少する中、14地区の福祉推進員会等にて啓発活動を行いました。

(2) 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、地域の現状や課題、解決策等について話し合う場(協議体)をつくり、高齢者の生活支援、社会参加及び介護予防の推進を目指した「住民主体の支え合いの地域づくり」を進めています。

生活支援コーディネーター(CSW兼務)が、地域包括支援センター及び甲府市地域保健課と協働しながら、自治会連合会や民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の各種団体と連携し、社会資源の把握、サービスや活動の創出、関係者間のネットワーク構築に取り組むとともに、甲府市が協議体を設置している地区では、協議体の運営支援等に努めました。

・協議体設置地区数 11地区

令和3年度新規設置地区 上九一色地区

・社会資源の把握件数

| | |
|--------|-----------------------|
| 中央ブロック | 2件(個人1件、その他1件) |
| 東ブロック | 1件(個人1件) |
| 西ブロック | 7件(個人3件、地域活動1件、その他3件) |
| 南ブロック | 5件(個人2件、地域活動1件、その他2件) |
| 北ブロック | 1件(グループ1件) |
| 市内全域 | 1件(その他1件) |

・生活支援体制整備事業に関わる会議の開催及び参加状況（令和4年3月末時点）

| ブロック | 実施数 | 地区別実施数 |
|-------|-----|---|
| 中央 | 34 | 富士川：6、春日：8、相生：8、朝日：11、その他：1 |
| 東 | 24 | 琢美：2、東：6、里垣：2、玉諸：11、甲運：1、その他：2 |
| 西 | 31 | 穴切：22、石田：3、池田：3、新田：2、その他：1 |
| 南 | 116 | 伊勢：18、湯田4、国母：3、大国：19、山城：2、大里：4 住吉：36、中道：13、上九一色：10、その他：7 |
| 北 | 36 | 北新：1、相川：27、千塚：5、羽黒：3 |
| ブロック外 | 11 | 全国サミット：3、県主催研修：1、市内全域会議：3、複数ブ ロック会議：3、複数ブロック研修：1 |
| 合計 | 252 | |

※実施数には、第2層協議体、サロン訪問、地域包括支援センター主催の地域ケア会議、高齢者支援地域推進会議等が含まれています。

※その他は、複数の地区に係わる会議や打ち合わせ等の回数です。

(3) 住民参加の支え合い事業

日常生活上の支援が必要な高齢者や障がい者等が、いつまでも安心して住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう、様々な住民参加の支え合い事業を実施し、介護予防・重度化防止のための取り組みを推進しました。

ア 配食サービス事業

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、身体の不自由により、食事づくりが困難な方を対象に、配食ボランティア等による見守りや声かけ、安否確認を兼ねた安心かつ安全な栄養バランスの摂れた配食を行うとともに、敬老の日やお正月等利用者が季節感を味わえるような副食の提供やメッセージカードの配付を行いました。

また、ホームページや甲府市広報等において、事業の周知や配食ボランティアの募集を行うとともに、配食ボランティア地区では、地区の実情に合った配食ボランティア募集チラシを作成しました。

なお、配食ボランティア責任者を対象とした配食サービス事業会議の開催や、地区ごとに開催された配食ボランティア交流会への参加を通じて、配食ボランティアの課題や活動状況を把握するとともに、課題解決に向けた意見交換を行い、配食ボランティアの円滑な活動に繋がるよう取り組みました。

・配食数

| | |
|-----------------|--------------------|
| ボランティア配食数（14地区） | 10,433食（前年度比177食減） |
| 業者配食数 | 19,370食（前年度比574食減） |
| 職員配食数 | 505食（前年度比17食減） |

・副食及びメッセージカードの配付

| | | | | |
|-------------|-------|----------------|----------------|-------|
| メッセージカードの配布 | 令和3年 | 7月 1日 ~ 7日 | ※七夕 | |
| | | 8月 2日 ~ 6日 | ※暑中見舞い | |
| | | 9月 13日 ~ 17日 | ※敬老の日 | |
| | | 12月 20日 ~ 24日 | ※クリスマス | |
| | 令和4年 | 1月 4日、5日 | ※年賀 | |
| | | 2月 28日 ~ 3月 4日 | ※ひな祭り | |
| | 副食の配付 | 令和3年 | 9月 13日 ~ 17日 | ※敬老の日 |
| | | 令和4年 | 1月 4日、5日 | ※年賀 |
| | | | 2月 28日 ~ 3月 4日 | ※ひな祭り |

・配食サービス事業会議

日 時 令和3年7月26日（月）午前10時

場 所 甲府市総合市民会館3階 大会議室

内 容 ①配食サービス事業の概要について

②令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について

③意見交換

「配食ボランティア活動における現状と課題について」他

・地区配食ボランティア交流会 6地区

・地区単位での配食ボランティア募集チラシ作成支援 4地区

イ いきいきサロン事業

職員が年間を通して、47か所のサロンを訪問し、活動状況や課題の把握を行うとともに、コロナ禍における取組み事例を収集し、各サロンへの啓発を図りました。新規設立の支援については「いきいきサロン活動写真展」を開催し、より多くのサロン活動を啓発するとともに、設立を検討している自治会や福祉推進員等に対して、設立までの支援を行う中で、新たに4か所のサロンが設立されました。また、みずほ教育福祉財団の「老後を豊かにするボランティア活動資金」の申請や、甲府市に提出する各種書類の作成支援等を行い、既存サロンの継続的な運営に努めました。

担い手の養成については、「すこやか地域サポーター養成講座」や「すこやか地域サポーター養成講座フォローアップ研修」を開催し、運営に役立つ技術や知識の習得等、サロン運営に係わる担い手のスキルアップに努めました。

| | |
|-------------------------------|--------|
| ①新規設立サロン | 4サロン |
| ②活動サロン数 | 132サロン |
| ③みずほ教育福祉財団助成決定数 | 5サロン |
| ④すこやか地域サポーター養成講座 5福祉センター15回実施 | 40名 |
| ⑤サロン訪問件数 | 47件 |
| ⑥サロンに関する相談件数 | 175件 |
| ⑦ボランティア講師派遣件数 | 42件 |

・甲府市いきいきサロン活動写真展

日 時 令和4年1月11日（火）～1月13日（木）午前9時～午後5時
場 所 甲府市役所本庁舎1階市民活動室
来場者数 289名

・すこやか地域サポーター養成講座フォローアップ研修

日 時 令和4年3月17日（木）午前10時
場 所 甲府市総合市民会館展示室他
受講者数 57名

ウ 笑顔ふれあい訪問サポート事業

今年度からスタートした「甲府市笑顔ふれあい訪問サポート事業」は、要介護状態区分の要支援1や2などの高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく自立した日常生活が続けられるよう、住民同士の支え合いと助け合いによって、多様な生活支援サービス（家事援助）を提供しています。

本事業において生活支援の担い手となる生活支援サポーターの養成やスキルアップを目的に、生活支援サポーター養成講座やフォローアップ研修を開催し、生活支援サポーターの活動前にはオリエンテーションを開催しました。

また、甲府市、地域包括支援センター、生活支援サポーター、本協議会の4者による情報交換会を開催し、活動状況や課題等を共有しました。

- ①生活支援サポーター登録者数 50名（22地区）
- ②利用者数 10名（実働サポーター数10名）
- ③訪問回数 140回
- ④活動時間 140時間
- ⑤延べ活動回数 218回

（清掃74回、調理・配下膳26回、買い物53回、ごみ出し52回、洗濯5回、衣類の整理・補修2回、その他6回）

・生活支援サポーター養成講座

第1回

日 時 令和3年7月5日（月）、7月7日（水）午後1時30分
場 所 甲府市総合市民会館3階 大会議室
講 師 山梨県介護福祉士会 望月知子 氏
受講者 8名（サポーター登録者4名）

第2回

日 時 令和4年3月22日（火）午前9時30分
場 所 山梨県男女共同参画推進センター（ぴゅあ総合）2階中研修室
講 師 山梨県介護福祉士会 望月知子 氏
受講者 11名（サポーター登録者6名）

※内 容（各回共通）

「事業概要」、「高齢者の基礎知識」、「高齢者との接し方・認知症の理解や対

応」、「感染防止対策について」他

- ・笑顔ふれあい訪問サポート事業活動前オリエンテーション

第1回

日 時 令和3年4月12日（月）午後1時30分

場 所 甲府市男女共同参画センター

出席者 5名

第2回

日 時 令和3年4月13日（火）午前9時

場 所 甲府市社会福祉協議会3階会議室

出席者 4名

第3回

日 時 令和3年7月21日（水）午後1時30分

場 所 甲府市男女共同参画センター

出席者 3名

※内 容（各回共通）

「支援活動の流れについて」、「活動上の留意点について」、

「生活支援サポーターへの配付品について」他

- ・生活支援サポーターフォローアップ研修

日 時 令和4年3月7日（月）午後1時10分

場 所 甲府市中道公民館会議室2・3

講 師 山梨県立大学 人間福祉学部・福祉コミュニティ学科
准教授 伊藤健次 氏

演 題 利用者と良好な関係を築くためのコミュニケーション

出席者 15名

- ・甲府市、地域包括支援センター、生活支援サポーター等による情報交換会

第1回

日 時 令和3年12月13日（月）午後2時

場 所 甲府市男女共同参画センター

内 容 実績紹介及び情報共有他

第2回

日 時 令和4年3月7日（月）午後3時20分

場 所 甲府市中道公民館会議室2・3

内 容 実績紹介及び情報共有他

2 支え合いのネットワークと協働体制の構築

(1) ボランティア活動の推進

ア ボランティア育成啓発事業

(ア) 福祉ボランティア活動実践校への支援

令和3年度から3年間で甲府市立全ての小・中・高等学校を実践校に指定し、学校と地域が協働して行う福祉教育やボランティア活動の支援を行いました。

- ・令和3年度福祉ボランティア活動実践校事業

今年度指定校12校

助成金額 480,000円（1校につき40,000円）

(イ) ボランティア活動の啓発と広報

市民にボランティア情報を提供するため、全戸配付の「甲府市ボランティアだより」（こうふ社協だよりとの合併号）を発行するとともに、ボランティアニュースを年3回発行し、市内各関係機関や福祉施設、社協法人会員等に配付しました。

さらにSNS（フェイスブック）によるリアルタイムの情報発信を22回行うとともに社協ホームページ、ボランティアボード、甲府市広報等を活用したボランティア関連の情報提供を行いました。

(ウ) ボランティアの養成

- ・災害ボランティア学習会

災害ボランティアや災害ボランティアセンターの運営協力者の養成を目的として開催している講座ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は一般市民等の募集を行わず、4月1日付で発足した「災害ボランティアセンター運営チーム（通称：DVOT）」の構成員を中心とした社協職員を対象に、災害ボランティアセンター運営訓練にも講師として参加いただいた山梨県社会福祉協議会の職員を講師に迎え、災害ボランティアセンター運営訓練を踏まえた課題と対策などについて学びました。

日時 令和3年11月18日（木） 午後1時30分

場所 甲府市協働支援センター研修室

参加者 10名

- ・手話学習会

聴覚障がいや聴覚障がい者への理解を深めるとともに手話でコミュニケーションを行うことの楽しさを学ぶための学習会を開催しました。

開催日 令和4年2月24日（木）、3月3日（木）、11日（金）、
17日（木） 全4回

場所 甲府市中央公民館 2階大ホール

参加者 7名

- ・ちょぼらキッズ養成講座

ボランティア活動への参加につながるような基本的な知識を身につけ、地域で活躍できる子どものボランティアの養成を目的に夏休みに開催している講座

で、施設を利用してのボランティア活動が難しいことから、今年度は大学生のボランティアサークルを講師に簡単なボランティア体験を行うことを計画していましたが、実施予定日が新型コロナウイルス感染症に関わる県の臨時特別要請やまん延防止等重点措置適用期間にあたったことからやむを得ず中止としました。

・傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティアを始めたい人だけではなく、様々なボランティア活動の対人関係で傾聴の技法を活かしたい人が円滑に活動が実践できることを目的に開催している講座ですが、コロナ禍では対人距離を保つことが難しいため昨年度に引き続き今年度も中止としました。

(エ) ボランティア交流事業の実施とボランティア団体の周知

市内の学生や障がい児（者）、ボランティア団体などが集い、展示体験ブースや舞台発表などを通じて交流を図ることで、相互の理解を深め合い、障がいの有無にとらわれないユニバーサルデザインの心を養うことを目的として開催する「ふれあい交流フェスタ」については、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない状況、コロナ禍では障がい児（者）、中高生等の参加が困難であること、ワクチン接種等のために会場の確保が難しいこと、ボランティア団体の活動が思うようにできていないことなどを勘案するとともに事業実施の中核である「甲府市ボランティア団体連絡協議会」の意見も聴く中で昨年度に引き続き中止することとしました。また、ボランティアウィークについても、同様の理由で開催を中止としました。

イ ボランティア活動協働推進事業

(ア) 地域ぐるみボランティア活動の推進

地区社会福祉協議会が主体となり、学校やその他の地区関係団体が連携し、地域ぐるみで福祉のこころを学ぶ福祉教育が実践できるよう支援を行っています。今年度は1地区社協を指定しました。

指定地区社協 甲運地区社会福祉協議会

助成金額 100,000円

(イ) 「フードアプリケーション プラス」の実施

各家庭や事業所等で余った食品等を寄付していただき、子ども支援や生活支援を行っているNPO法人などを通じて必要な家庭及び団体等で活用していただく事業です。

・フードアプリケーションプラス 夏期
期間 令和3年7月1日（木）～7月16日（金）
集荷量 食品781kg 生活用品3,842品

・フードアプリケーションプラス 冬期

期 間 令和3年11月29日(月)～12月17日(金)

集荷量 食品1, 226kg 生活用品2, 756品

・フードアプリケーションプラス 春 期

期 間 令和4年3月1日(火)～18日(金)

集荷量 食品2, 026kg 生活用品5, 877品

(ウ) 甲府市災害ボランティアセンター運営

いつ起こるか分からない災害に安定的、継続的に対応するため、災害ボランティアや災害ボランティアセンターに関するノウハウを蓄積できる人材を育成するための「災害ボランティアセンター運営チーム」(通称DVOT: Disaster Volunteer-center Operation Teamの頭文字)を設置し、6人のメンバーを選任しました。

DVOTは学習会を開催し、「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の見直し、関連備品の整備、図上訓練の実施などに取り組みました。

また、災害時には近隣社協との連携、協力が欠かせないことから、中央市社協が実施した「中央市災害ボランティアセンター運営協力員養成講座」にDVOTメンバーが出席しました。

さらに、DVOTは災害ボランティアセンターのサテライトが設置された場合の対応も想定して設置したことから、今回の運営訓練は本部とサテライトに分かれた想定で実施しました。

・災害ボランティアセンター運営訓練

開催日 令和3年11月14日(日)

場 所 甲府市役所南庁舎1号館

参加者 22名(大学生ボランティア4名含む)

(エ) ボランティア活動への支援

・団体及び個人ボランティアの登録・調整

ボランティア活動に関する登録や調整等の相談対応やボランティア活動保険業務等を実施しました。

・相談・登録・斡旋の状況

| | 活動者 | 受入者 | その他 | 計 |
|----------|-----|-----|-----|----|
| ボランティア相談 | 3 | 3 | 9 | 15 |

| ボランティア登録 | 福祉 | 子どもの健全育成 | 文化・スポーツ | 災害 | 地域 | 環境 | 人権 | 保健・医療 | その他 | 計 |
|----------|----|----------|---------|----|----|----|----|-------|-----|---|
| 団体 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| 個人 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 |

| ボランティア斡旋 | 施設 | サロン | 地区社協 | その他 | 不成立 | 計 |
|----------|----|-----|------|-----|-----|----|
| 単発 | 1 | 41 | 1 | 4 | 10 | 47 |
| 継続 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |

- ・相談…ボランティア活動をしたい人・してほしい人（ニーズ）、その他ボランティアに関する相談件数
- ・登録…個人・団体のボランティアが、ボランティアセンターに登録した件数
- ・斡旋…ボランティア活動を希望する個人及び施設等には紹介、ボランティア活動をしてほしい個人及び施設等に斡旋した件数の合計
- ・その他…短期終結ボランティア件数

・ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動が安心して行えるよう、ボランティア活動中の事故に対応する保険への加入促進を図りました。

- ①ボランティア活動保険加入件数 56件
 - 内訳 基本タイプ 39件
 - 天災タイプ 17件
- ②ボランティア行事保険加入件数 28件
- ③送迎サービス補償 14件
- ④福祉サービス総合補償 1件

・ボランティア活動資材や活動場所の貸出

高齢者疑似体験セットや車椅子、放送機器等の貸出や活動場所としてボランティアビューローを貸出し、体験学習やボランティア活動への支援を行いました。

| | |
|---------------------|---|
| 高齢者や障がい者等のための貸出 | ・車椅子 77件 |
| ボランティア活動や学習支援のための貸出 | <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子 7件（18台） ・高齢者疑似体験セット 7件（25セット） ・白い杖 2件（9本） ・アイマスク 2件（7枚） ・積み木 1件 ・マイク・アンプ 20件 ・プロジェクター 35件 ・スクリーン 21件 ・延長コード 31件 ・DVDプレイヤー 1件 ・パソコン 1件 ・ホワイトボード 1件 |

- ・ボランティアビューロー利用件数 88件

(オ) 甲府市協働のまちづくり推進行動計画の共同実施

甲府市協働支援センターと合同のボランティア相談の実施

実施日 令和4年1月12日(水)

場 所 甲府市勤労者福祉センター

内 容 ボランティア相談やアンケートの実施

(カ) その他の活動

・「ようふくりレー」

不必要となった子ども服等を必要とする子育て家庭に活用してもらうことで子育て家庭を支援することを目的に「ようふくりレー」事業を実施しました。

収集期間：令和3年3月22日(月)～4月23日(金)

おゆずり会：令和3年7月21日(水)・22日(木・祝) 夏物中心

65組、125人利用

令和3年11月21日(日)、22日(月) 冬物中心

92組、204人利用

・善意のカレンダー運動

家庭や企業等で余っているカレンダーや手帳を寄付していただき、入手が困難な高齢者や福祉施設等で活用してもらいました。

実施期間：(収集) 令和3年12月6日(月)～28日(火)

(活用) 令和3年12月6日(月)～令和4年1月21日(金)

収集件数：壁掛けカレンダー1,745、卓上カレンダー548、

手帳469 合計2,769

・甲府刑務所の社会貢献事業への協力

甲府市ボランティアセンターが所有し、貸し出しを行っている車いすの清掃作業について協定を締結し、甲府刑務所の社会貢献事業に協力しました。

実施期間：令和3年11月9日(火)～令和4年2月18日(金)

実施件数：全8回、延べ23台

・使用済み切手や牛乳パック等の活用

使用済み切手や牛乳パックなどを回収しリサイクル活動に協力しました。

(2) 赤い羽根共同募金運動の推進

山梨県共同募金会甲府市支会事務局として、自治会連合会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会等の各種団体代表者で構成される委員会で、赤い羽根共同募金運動について協議し、実施しました。

また、地区社会福祉協議会や施設、団体等からの前年度申請に基づいて、山梨県共同募金会から次の様な配分を受けました。

さらに、前年度に引き続き、赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」を、次のとおり実施しました。

ア 山梨県共同募金会甲府市支会

(ア) 監査会

日 時 令和3年6月16日(水) 午前10時
場 所 甲府市男女共同参画センター

(イ) 正副支会長会議

日 時 令和3年6月16日(水) 午後1時30分
令和3年9月6日(月) 午後1時30分
場 所 甲府市男女共同参画センター

(ウ) 委員会

第1回

日 時 令和3年6月24日(木) 午後2時
場 所 地場産業センター かいてらす

※新型コロナウイルス感染症に係る県の臨時特別要請を受け、感染拡大防止の観点から書面により開催しました。

第2回

日 時 令和3年9月17日(金) 午前10時
場 所 甲府市総合市民会館 3階大会議室

※新型コロナウイルス感染症に係る県の臨時特別要請及びまん延防止等重点措置を受け、感染拡大防止の観点から書面により開催しました。

イ 募金実績(総額: 16,927,668円)

【内訳】

| | |
|-----------|------------|
| 家庭募金 | 7,317,439円 |
| 大口・事業所募金 | 6,153,363円 |
| 職場募金 | 1,943,209円 |
| 特殊募金 | 804,303円 |
| 街頭募金 | 0円 |
| 自動販売機募金 | 590,794円 |
| 歳末たすけあい募金 | 118,560円 |

ウ 配分額(総額: 7,274,000円)

(ア) 地域社会福祉事業 2,012,000円

- ・ 広報啓発事業……社協だよりの発行等
- ・ 高齢者福祉事業……各地区敬老会開催に係る助成等
- ・ 高齢者保健、福祉向上事業
- ・ 民間福祉団体助成事業…各種福祉団体への助成
- ・ 令和3年度手話学習会開催事業

(イ) あったかサービス事業 (1,000,000円)

- ・ 配食サービス事業
- ・ ふれあい交流促進事業

| | |
|------|---|
| 相生地区 | 「朝市」と「寄席」開催事業 |
| 琢美地区 | 見守りと交流を兼ねた慰問品配付事業 |
| 里垣地区 | 喜寿の祝い記念品贈呈事業 |
| 甲運地区 | 一人暮らし高齢者へのプレゼント配付事業 |
| 貢川地区 | 歳末友愛訪問事業 |
| 池田地区 | ひとり暮らしの高齢者を励ます昼食会開催事業 |
| 新田地区 | いきいきサロンとの交流事業 |
| 国母地区 | ねたきり・認知症高齢者等の慰問・交流事業 |
| 大里地区 | 高齢者慶祝品配付事業 |
| 相川地区 | 一人暮らし高齢者の訪問と健康良品の贈呈事業 |
| 市社協 | ・すこやか地域サポーター養成講座フォローアップ研修 ・フードアプリケーションプラス ・サロンへの貸出し及び訪問事業 |

(ウ) 安心・安全なまちづくり事業 (299,000円)

- ・ 災害ボランティアセンターの備品整備及び養成事業

(エ) みんなで地域を良くする事業 (1,163,000円)

- ・ 小地域ネットワーク活動推進事業
- ・ 福祉のまちづくり推進事業
- ・ 地域安心活性化事業

| | |
|--------|---------------------------|
| 富士川地区 | 地域交流のための梅園見学事業 |
| 伊勢地区 | 健康教室（ウォーキングチラシ等作成）事業 |
| 住吉地区 | ウォーキング大会開催事業 |
| 大国地区 | 地域の見守り体制の強化及び福祉情報の発信事業 |
| 中道地区 | 福祉グラウンドゴルフ交流会開催事業 |
| 上九一色地区 | 古関・梯地区親睦グラウンドゴルフ大会開催事業 |
| 北新地区 | 子育て家庭や生活困窮者を支援する事業 |
| 千塚地区 | 健康ウォーク開催事業 |
| 市社協 | ・地域住民の交流促進事業 ・犯罪予防啓発事業 |

(オ) ボランティア広報事業 (110,000円)

- ・ 「ボランティア活動普及協力校・福祉実践校活動集」作成

(カ) 地域福祉活動事業 (2,380,000 円)

- ・ 甲府市社会福祉大会事業
- ・ 甲府市社会福祉協議会 70 周年記念事業
- ・ ホームページ掲載による情報発信事業
- ・ 虐待防止研修会事業
- ・ 福祉推進員研修会等事業
- ・ 心配ごと相談事業
- ・ 地区社協だよりの発行に係る助成

(キ) 小地域福祉活動事業 (250,000 円)

| | |
|-------|------------|
| 新紺屋地区 | ふれあい交流事業 |
| 朝日地区 | 健康体操教室開催事業 |
| 羽黒地区 | 世代間交流事業 |
| 玉諸地区 | 発電機整備事業 |

(ク) 地域福祉活動団体推進事業 (60,000 円)

- ・ 民生委員児童委員全体研修会に係る助成

エ 募金百貨店プロジェクト

- ・ (株) いちやまマート
令和3年7月1日(木)～8月31日(火)
アサヒ飲料の対象商品1本につき2円の寄付
募金額 53,066円
- ・ (株) PRINKS
令和3年2月1日(月)～令和3年12月31日(金)
レジ用ロール紙1巻につき1円の寄付
募金額 9,210円

3 権利擁護体制の整備

(1) 成年後見制度に関する事業

甲府市から成年後見制度中核機関を引き続き受託し、成年後見制度に関する事業の更なる推進を図りました。

ア 相談業務

- ・ 成年後見制度に関する総合相談 159件
- ・ 成年後見制度申立て支援 2件

【類型内容】

- 保佐類型 1件
- 後見類型 1件

イ 市民後見人養成研修業務

実践研修

- ・受講者 11名
- ・講座 全6回

| | 日 程 | 内 容 |
|-----|----------|---|
| 第1回 | 1月19日(水) | 地域の現状 介護保険制度、高齢者福祉制度、障がい者福祉制度、生活保護制度について |
| 第2回 | 2月 2日(水) | 家庭裁判所の役割 日常生活自立支援事業について 生活支援員の業務について |
| 第3回 | 2月14日(月) | 家庭裁判所への提出書類作成 後見人業務の1年カレンダーの作成 |
| 第4回 | 3月 2日(水) | 対人援助の基礎 |
| 第5回 | 3月16日(水) | 成年後見の実務 |
| 第6回 | 3月30日(水) | 課題演習「事例を用いて成年後見人の役割を確認する」 |

※実習（高齢者施設・障がい者施設・日常生活自立支援事業生活支援同行）は、令和4年4月～5月に実施。

※市民後見人として1名が選任され、本協議会との複数後見として活動を始めた。

ウ 法人後見業務

- ・法人後見業務 12件

| 類 型 | 令和2年度 | | | 令和3年度 | | |
|-----|-------|-----|-----|-------|-----|-----|
| | 新規受任 | 終 了 | 年度末 | 新規受任 | 終 了 | 年度末 |
| 後 見 | 1 | 0 | 8 | 1 | 1 | 8 |
| 保 佐 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| 補 助 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 合 計 | 1 | 0 | 11 | 2 | 1 | 12 |

エ 会議の開催

- ・「福祉後見サポートセンターこうふ」運営委員会
第1回 令和3年 4月23日(金) 午後6時30分
- ・成年後見制度利用検討部会
第1回 令和3年 5月13日(木) 午後1時30分

- 第2回 令和3年 7月26日(月) 午後1時30分
- 第3回 令和3年 9月29日(木) 午後1時(オンライン開催)
- 書面審査(11月)
- 第4回 令和3年11月29日(木) 午前10時(オンライン開催)
- 第5回 令和4年 1月24日(月) 午前10時(オンライン開催)
- 第6回 令和4年 3月10日(木) 午後1時30分(オンライン開催)

・甲府市成年後見制度利用推進連携協議会

- 第5回 令和3年 7月20日(火) 午後1時30分
- 第6回 令和4年 2月21日(月) 午後1時30分(オンライン開催)

・定例会

- 第1回 令和3年 4月27日(火) 午後 2時
- 第2回 令和3年 5月24日(月) 午前10時
- 第3回 令和3年 6月24日(木) 午前10時
- 第4回 令和3年 7月29日(木) 午前10時
- 第5回 令和3年10月19日(火) 午前10時(オンライン開催)
- 第6回 令和3年11月17日(水) 午前10時(オンライン開催)
- 第7回 令和3年12月23日(木) 午前10時30分(オンライン開催)
- 第8回 令和4年 1月27日(木) 午前10時30分(オンライン開催)
- 第9回 令和4年 2月25日(金) 午前10時(オンライン開催)
- 第10回 令和4年 3月25日(金) 午前10時(オンライン開催)

・法人後見ネットワーク会議

- 第1回 令和3年 4月22日(木) 午前10時
- 第2回 令和3年 6月23日(水) 午前9時30分
- 第3回 令和3年 9月28日(火) 午前10時
- 第4回 令和3年10月21日(木) 午前10時
- 第5回 令和3年12月16日(木) 午前10時
- 第6回 令和4年 2月18日(金) 午前10時

オ 広報活動等

- ・甲府市社会福祉協議会ホームページへの掲載
- ・甲府市社協だよりへの掲載
- ・甲府市地域包括支援センター実務者会議(オンライン会議)での中核機関の紹介
- ・相談支援事業所連絡会で成年後見制度及び権利擁護についてパンフレットの配付及び説明

カ 啓発事業

- ・第1回意思決定支援研修会

日 時 令和3年9月30日(木) 午後1時
方 法 オンラインによる研修
参加者数 33名

・第2回意思決定支援研修会

日 時 令和4年3月29日(火) 午後1時30分
方 法 オンラインによる研修
参加者数 31名

(2) 日常生活支援事業

ア 日常生活自立支援事業

山梨県社会福祉協議会からの委託により、契約に基づいて、判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい・精神障がいのある方々の日常生活を支援をしました。

市民後見人養成研修修了者のうち希望者を市民生活支援員として登録し、支援にあたりました。

担当地域 甲府市
支援体制 専門員 1名
生活支援員 37名(うち市民生活支援員登録者28名)
相談援助件数 1,065件
利用者数 62名

・甲府地区自立生活支援計画策定委員会

日時 第1回 令和3年10月5日(火) 午後1時30分
第2回 令和4年3月18日(金) 午後1時30分
方法 オンラインによる研修

イ 生活福祉資金等貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの委託により、経済的自立と生活意欲の助長促進を目的として低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯等への貸付の受付相談窓口業務等を行いました。

(ア) 貸付資金の種類と貸付状況

① 生活福祉資金<実施主体 山梨県社会福祉協議会>

| 貸付件数 (R3.4.1 現在) | 相談件数 | 新規貸付件数 | 貸付件数 (R4.3.31 現在) |
|---------------------|------|--------|----------------------|
| 69件 | 82件 | 11件 | 78件 |

・完済：2件

② 臨時特例つなぎ資金＜実施主体 山梨県社会福祉協議会＞

| 貸付件数 (R3.4.1 現在) | 相談件数 | 新規貸付件数 | 貸付件数 (R4.3.31 現在) |
|---------------------|------|--------|----------------------|
| 0 件 | 0 件 | 0 件 | 0 件 |

③ 山梨県高齢者居室等整備資金及び重度心身障害者居室等整備資金
＜実施主体 山梨県社会福祉協議会＞

| 貸付件数 (R3.4.1 現在) | 相談件数 (R3.3.31 現在) | 新規貸付件数 (R3.3.31 現在) | 貸付件数 (R4.3.31 現在) |
|---------------------|----------------------|------------------------|----------------------|
| 5 件 | 0 件 | 0 件 | 5 件 |

④ 要援護者緊急援助金＜実施主体 甲府市社会福祉協議会＞

| 相談件数 (R4.3.31 現在) | 新規支給件数 (R4.3.31 現在) |
|----------------------|------------------------|
| 1 3 件 | 1 3 件 |

(イ) 借受人に対する相談支援等

- ・ 滞納者相談（面談・電話） 1 2 1 名
- ・ 滞納者への現況確認票の送付 1 2 1 名
- ・ 居住地調査 2 名
- ・ 債務承認書の受付 1 名

(ウ) 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、収入が減少した方を対象とした特例貸付（貸付上限枠や一部申請書類等の緩和）に対応しました。

①緊急小口資金

| 相談件数 | 受付件数 |
|------------|---------|
| 1, 0 0 4 件 | 7 9 3 件 |

②総合支援資金

| 相談件数 | 受付件数 | | |
|------------|---------|---------|---------|
| | 新規貸付 | 延長貸付 | 再貸付 |
| 1, 6 6 1 件 | 8 1 9 件 | 2 3 7 件 | 7 7 5 件 |

特例貸付合計（①②の合計）

| | 相談件数 | 受付件数 |
|-----|------------|------------|
| 合 計 | 2, 6 6 5 件 | 2, 6 2 4 件 |

4 福祉施設サービスの充実

甲府市福祉センター（5施設）、上九の湯ふれあいセンター、健康の杜センター及びいきいきプラザ（2施設）の計9施設の設置に係る甲府市の条例等を遵守する中、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止策を講じつつ、快適に利用することができるよう安全で安心な施設管理に努めました。また全施設について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため山梨県が行った「新型インフルエンザ等対策特別措置法によるまん延防止等重点措置に伴う休業要請」に基づく甲府市から休業要請のあった8月20日から9月12日を臨時休館とし、開館期間中に制限していた合唱・歌唱及び調理室の利用制限については11月16日から緩和しました。

(1) 甲府市福祉センターの管理・運営（開館日数：273日、臨時休館日数：21日）

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染防止対策に伴う臨時休館や利用制限を行いながら開館しました。

なお1月5日から機能回復訓練室の一部の利用を再開しました。

ア 利用状況

(単位：人)

| | 令和2年度 | | | | 令和3年度 | | | | 前年度との比較 | | | |
|----|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|---------|-------|--------|----------|
| | 男 | 女 | 計 | 1日平均利用者数 | 男 | 女 | 計 | 1日平均利用者数 | 男 | 女 | 計 | 1日平均利用者数 |
| 玉諸 | 5,803 | 5,595 | 11,398 | 47.9 | 7,263 | 7,565 | 14,828 | 54.3 | 1,460 | 1,970 | 3,430 | 6.4 |
| 山宮 | 3,240 | 3,568 | 6,808 | 28.6 | 4,816 | 5,610 | 10,426 | 38.2 | 1,576 | 2,042 | 3,618 | 9.6 |
| 貢川 | 6,214 | 5,040 | 11,254 | 47.3 | 5,377 | 5,314 | 10,691 | 39.2 | △ 837 | 274 | △ 563 | △ 8.1 |
| 相川 | 5,013 | 5,083 | 10,096 | 42.4 | 6,270 | 7,104 | 13,374 | 49.0 | 1,257 | 2,021 | 3,278 | 6.6 |
| 相生 | 4,095 | 3,999 | 8,094 | 34.0 | 6,106 | 6,708 | 12,814 | 46.9 | 2,011 | 2,709 | 4,720 | 12.9 |
| 合計 | 24,365 | 23,285 | 47,650 | 40.0 | 29,832 | 32,301 | 62,133 | 45.5 | 5,467 | 9,016 | 14,483 | 5.5 |

※新型コロナウイルス感染拡大防止策により、ふくし号（バス）の運行を中止しました。

イ 機能回復訓練等利用状況

(単位:人)

| 区 分 | | 玉 諸 | 山 宮 | 貢 川 | 相 川 | 相 生 | 合 計 |
|------------------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 生活・健康・身上相談 | R 2 | 90 | 23 | 0 | 781 | 149 | 1,043 |
| | R 3 | 100 | 14 | 59 | 781 | 34 | 988 |
| | 比較 | 10 | △ 9 | 59 | 0 | △ 115 | △ 55 |
| 介護予防・機能訓練 | R 2 | 21 | 25 | 581 | 101 | 183 | 911 |
| | R 3 | 1,002 | 1,350 | 1,437 | 442 | 2,787 | 7,018 |
| | 比較 | 981 | 1,325 | 856 | 341 | 2,604 | 6,107 |
| ヘルストロン、各種 マッサージ等利用者 | R 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | R 3 | 78 | 3 | 0 | 52 | 37 | 170 |
| | 比較 | 78 | 3 | 0 | 52 | 37 | 170 |
| 療育指導・技能習得 | R 2 | 0 | 26 | 175 | 0 | 35 | 236 |
| | R 3 | 0 | 0 | 66 | 0 | 90 | 156 |
| | 比較 | 0 | △ 26 | △ 109 | 0 | 55 | △ 80 |
| 教養の向上・レク リエーション | R 2 | 837 | 1,406 | 1,904 | 1,795 | 490 | 6,432 |
| | R 3 | 971 | 1,718 | 1,896 | 2,407 | 806 | 7,798 |
| | 比較 | 134 | 312 | △ 8 | 612 | 316 | 1,366 |
| シニアクラブ等に 対する援助等 | R 2 | 70 | 129 | 155 | 133 | 5 | 492 |
| | R 3 | 67 | 112 | 116 | 272 | 48 | 615 |
| | 比較 | △ 3 | △ 17 | △ 39 | 139 | 43 | 123 |
| その他 (市の事業への協力等) | R 2 | 86 | 216 | 1 | 216 | 299 | 818 |
| | R 3 | 176 | 369 | 87 | 295 | 479 | 1,406 |
| | 比較 | 90 | 153 | 86 | 79 | 180 | 588 |
| 合 計 | R 2 | 1,104 | 1,825 | 2,816 | 3,026 | 1,161 | 9,932 |
| | R 3 | 2,394 | 3,566 | 3,661 | 4,249 | 4,281 | 18,151 |
| | 比較 | 1,290 | 1,741 | 845 | 1,223 | 3,120 | 8,219 |

ウ 各種実施事業

| 区分 | 玉 諸 | 山 宮 | 貢 川 | 相 川 | 相 生 |
|--------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 生活・健康・ 身上等の相談 及び指導 | ・看護師による生活・健康・身上等の相談及び指導（日常相談業務） | ・看護師による生活・健康・身上等の相談及び指導（日常相談業務） | ・看護師による生活・健康・身上等の相談及び指導（日常相談業務） | ・看護師による生活・健康・身上等の相談及び指導（日常相談業務） | ・看護師による生活・健康・身上等の相談及び指導（日常相談業務） |
| 療育指導及び技能習得 | なし | なし | ・障害者団体等への施設の供与及び援助 | なし | ・障害者団体等への施設の供与及び援助 |
| 教養の向上・レクリエーション | ・各自主グループ活動への施設供与及び援助 | ・各自主グループ活動への施設供与及び援助 | ・各自主グループ活動への施設供与及び援助 | ・各自主グループ活動への施設供与及び援助 | ・各自主グループ活動への施設供与及び援助 |
| シニアクラブに対する援助等 | ・シニアクラブ活動への施設供与及び援助 | ・シニアクラブ活動への施設供与及び援助 | ・シニアクラブ活動への施設供与及び援助 | ・シニアクラブ活動への施設供与及び援助 | ・シニアクラブ活動への施設供与及び援助 |
| 介護予防・機能回復訓練 | ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポーター養成講座 | ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポーター養成講座 | ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポーター養成講座 | ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポーター養成講座 | ・ミニ脳たいそう ・すこやか地域サポーター養成講座 |
| その他 | ・実習生受入 ・通所型介護予防事業への協力 ・救急対応 | ・通所型介護予防事業への協力 ・救急対応 | ・小学校校外学習の受入 ・救急対応 | ・実習生受入 ・通所型介護予防事業への協力 ・救急対応 | ・実習生受入 ・通所型介護予防事業への協力 ・救急対応 |

(2) 甲府市上九の湯ふれあいセンターの管理・運営（開館日数：277日、臨時休館日数：30日）
 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に伴う臨時休館や利用制限を行いながら開館しました。なお入浴施設については、山梨県の臨時特別要請に基づき甲府市からの要請のあった8月9日から、まん延防止等重点措置の終了する9月12日まで利用を停止し、その後、利用を再開するとともに、4月25日から9月30日までの間、緊急事態宣言提唱地域の方の利用を制限しました。

ア 利用状況

| 施設区分 | | 利用料金 (円) | 令和2年度 利用者数 (人) | 令和3年度 利用者数 (人) | 前年度 との比較 | 令和2年度 料金 (円) | 令和3年度 料金 (円) | 前年度との 比較 |
|------------------|-----------|-------------|----------------------|----------------------|-------------|--------------------|--------------------|-------------|
| 温泉 (市内) | 一般 | 310 | 2,964 | 3,197 | 233 | 918,840 | 991,070 | 72,230 |
| | 小・中学生 | 100 | 302 | 327 | 25 | 30,200 | 32,700 | 2,500 |
| | 障がい者 | 110 | 515 | 683 | 168 | 56,650 | 75,130 | 18,480 |
| | 回数券購入者 | 3,100 | - | - | - | 483,600 | 368,900 | △ 114,700 |
| | 回数券利用者 | - | 1,863 | 1,526 | △ 337 | - | - | |
| 温 泉 (市外) | 一般 | 730 | 1,244 | 1,208 | △ 36 | 908,120 | 881,840 | △ 26,280 |
| | 小・中学生 | 310 | 209 | 130 | △ 79 | 64,790 | 40,300 | △ 24,490 |
| | 障がい者 | 310 | 62 | 87 | 6 | 19,220 | 26,970 | 7,750 |
| | 回数券購入者 | 7,300 | - | - | - | 7,300 | 14,600 | 7,300 |
| | 回数券利用者 | - | 22 | 39 | 17 | - | - | - |
| | 夜間(17時以降) | 520 | 304 | 304 | 0 | 158,080 | 158,080 | 0 |
| | 団体(15名以上) | 520 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 温泉(スタンプ特典) | | - | 294 | 320 | 26 | - | - | - |
| 温泉スタンド | | 10円/10ℓ | - | - | - | 32,340 | 9,910 | △ 22,430 |
| 施設利用者及び料金(多目的室等) | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 事業収入及び自販機手数料等 | | | - | - | - | 166,054 | 150,786 | △ 15,268 |
| 合 計 | | | 7,779 | 7,821 | 42 | 2,845,194 | 2,750,286 | △ 94,908 |
| 1日平均 | | | 32.0 | 28.2 | △ 3.8 | 11,708.62 | 9,928.83 | △ 1,779.8 |

※ 貸館の利用はありませんでした。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止策により、バスの運行を中止しました。

(3) 甲府市健康の杜センター（開館日数：286日、臨時休館日数：21日）

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染防止対策に伴う臨時休館や利用制限を行いながら開館しました。

なおトレーニング室及びゲートボール場については、山梨県の臨時特別要請に基づき甲府市からの要請のあった8月9日からまん延防止等休業重点措置の終了する9月12日まで利用を停止し、その後、利用を再開しました。

| 施設区分 | 令和2年度 利用者数 (人) | 令和3年度 利用者数 (人) | 前年度 との比較 | 令和2年度 利用 料 (円) | 令和3年度 利用 料 (円) | 前年度 との比較 |
|-------------|----------------------|----------------------|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------|
| 多目的室 | 1,490 | 2,425 | 935 | 30,780 | 40,230 | 9,450 |
| 会議室 | 131 | 207 | 76 | 870 | 300 | △ 570 |
| 集会室1 | 9 | 52 | 43 | 300 | 0 | △ 300 |
| 集会室2 | 339 | 600 | 261 | 12,370 | 7,730 | △ 4,640 |
| 調理実習室 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| トレーニング室 | 551 | 633 | 82 | 129,130 | 130,290 | 1,160 |
| 幼児コーナー | 546 | 384 | △ 162 | - | - | - |
| ゲートボール場 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
| 芝生広場 | 577 | 300 | △ 277 | - | - | - |
| 親水公園 | 63 | 4 | △ 59 | - | - | - |
| 中道つどいの広場 | 638 | 384 | △ 254 | - | - | - |
| その他（駐車場利用等） | 1,222 | 821 | △ 401 | - | - | - |
| 合 計 | 5,566 | 5,810 | 244 | 173,450 | 178,550 | 5,100 |
| 1日平均 | 22.4 | 20.3 | △ 2.1 | 699.4 | 624.3 | △ 75.1 |

(4) 甲府市いきいきプラザ（開館日数：286日、臨時休館日数：59日）

新型コロナウイルス感染症ウイルスの感染防止対策に伴う臨時休館や利用制限を行いながら開館しました。

なお上曽根ゲートボール場については、山梨県の臨時特別要請に基づき甲府市からの要請のあった8月9日からまん延防止等休業重点措置の終了する9月12日まで利用を停止し、その後、利用を再開しました。

ア 上曽根いきいきプラザ

| 施設区分 | 令和2年度 利用者数 (人) | 令和3年度 利用者数 (人) | 前年度 との比較 | 平成2年度 利用料 (円) | 平成3年度 利用料 (円) | 前年度 との比較 |
|---------|----------------------|----------------------|-------------|---------------------|---------------------|-------------|
| 集会室 | 6 | 30 | 24 | 410 | 1,800 | 1,390 |
| 多目的室 | 6 | 67 | 61 | 780 | 8,160 | 7,380 |
| ゲートボール場 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
| その他 | 0 | 0 | 0 | - | - | - |
| 合 計 | 12 | 97 | 85 | 1,190 | 9,960 | 8,770 |
| 1日平均 | 0.04 | 0.34 | 0.3 | 4.8 | 34.8 | 30.0 |

イ 古関・梯いきいきプラザ

| 施設区分 | 令和2年度 利用者数 (人) | 令和3年度 利用者数 (人) | 前年度 との比較 | 平成2年度 利用料 (円) | 平成3年度 利用料 (円) | 前年度 との比較 |
|------|----------------------|----------------------|-------------|---------------------|---------------------|-------------|
| 多目的室 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 集会室 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1日平均 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

5 在宅福祉サービス事業の経営

社会情勢の変化の動向を見極めながら、令和元年度に実施した在宅福祉サービス事業の見直しを継続的に進め、経営の改善に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、地域住民に対する包括的支援と在宅介護サービスの提供に努めました。

また、職員研修については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、オンラインによる研修に参加し、資質の向上に努めました。

(1) 訪問介護事業

利用者の支援に関わる職員の体調管理を徹底するなか、早期の新型コロナワクチン接種や、衛生用品（マスク、アルコール消毒液等）の配付等を行ない、感染拡大防止と継続的な利用者へのサービス提供に努めました。

また、住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、介護支援専門員等、介護に関わる関係者と連携を図りながら、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供に努めました。

| 項 目 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 前年度との比較 | |
|---------------------|-------|------|-------|------|---------|------|
| | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 |
| 訪問介護 | 7,995 | 54 | 6,872 | 54 | △1,123 | ±0 |
| 介護予防・日常生活支援 総合事業 | 1,348 | 19 | 957 | 13 | △397 | △6 |

(2) 居宅介護事業（障がい福祉サービス）

感染拡大防止を徹底する中、障がいのある人も地域の中で「自分らしく」暮らしながら社会参加ができるよう、支援に関わる相談支援員を始めとする関係者と連携を図り、利用者のニーズに寄り添ったサービスの提供に努めました。

また、引き続き、移送サービス（保険外サービス）も実施し、利用者へのサービスの充実に努めました。

| 項 目 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 前年度との比較 | |
|--------|-------|------|-------|------|---------|------|
| | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 |
| 居宅訪問介護 | 7,605 | 43 | 7,324 | 42 | △381 | △1 |
| 同行援護 | 1,371 | 30 | 1,386 | 28 | 15 | △2 |
| 移動支援 | 693 | 11 | 488 | 10 | △205 | △1 |

(3) 通所介護事業（甲府市中道デイサービスセンター）

安全・安心に通所介護事業を利用できるように、感染拡大防止を徹底しながら、継続的なサービス提供に努めました。

また、新型コロナワクチンの接種や定期受診等に移送サービス（保険外サービス）を利用していただくなど、サービスの充実を図るとともに、デイサービスの様子を紹介した、「中道デイ通信」を四半期ごとに発行し、中道支所等、地区内の22箇所において配布するなど、開かれた事業所運営に努めました。

加えて、「第21回介護健康フェア in こうふ」に、利用者が作製した工作物を初めて出品するなど、事業所のPRにも積極的に取り組みました。

なお、甲府市上九一色デイサービスセンターは、令和2年4月1日からデイサービス事業を休止しているため、指定管理施設として管理を行いました。

| 項 目 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 前年度との比較 | |
|---------------------|-------|------|-------|------|---------|------|
| | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 |
| 通所介護（地域密着） | 2,466 | 26 | 2,425 | 24 | △42 | △2 |
| 介護予防・日常生活支援 総合事業 | 180 | 3 | 176 | 4 | △4 | 1 |

| | | | |
|------|-------|-------|------|
| 営業日数 | 308 日 | 306 日 | △2 日 |
|------|-------|-------|------|

(4) 地域包括支援センター事業

地域包括ケア体制の構築に向け、中道・上九一色地区の中核機関として甲府市保健師や生活支援コーディネーター、地域密着型施設など様々な職種・機関と連携を図りました。コロナ禍にあっても、感染防止対策を徹底しながら開催された、地区内の各種会議には積極的に参加し、地域住民と顔の見える関係づくりや地域課題の共有などに取り組みました。

なお、今年度からの新たな取組として、上九一色地区及び中道地区において山梨県立大学と共同で高齢者の足の健康に関する調査を実施し、介護予防事業における「フットケア」の有益性について啓発に努めました。

| 項目 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 前年度との比較 | |
|----------------|-------|------|-------|------|---------|------|
| | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 | 件数 | 利用者数 |
| 総合相談対応 | 251 | 179 | 271 | 189 | 20 | 10 |
| 介護予防サービス計画作成 | 209 | 22 | 252 | 28 | 43 | 6 |
| 介護予防ケアマネジメント作成 | 211 | 30 | 185 | 32 | △26 | 2 |
| 元気アップ高齢者実態把握 | 117 | | 182 | | 65 | |

6 法人運営・財政基盤の強化

(1) 「甲府市社会福祉協議会強化発展計画」の進行管理

令和3年度の「甲府市社会福祉協議会強化発展計画」実施計画については、評価検討委員会において、事業実績や課題などを評価し、事業効果を高めるための検討など、適確な進行管理に努めました。

今年度の法人運営における主要な課題への取り組み結果は、次のとおりです。

ア 人材育成基本方針等の策定

人材育成基本方針に基づき、人事評価を実施するとともに、新たに職員研修計画を策定し、本協議会の将来を担う職員の育成に努めました。

イ 財源の確保

自主財源としての会費収入の確保に向けて、地区自治会連合会及び地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会等の協力のもと、加入促進に向けた取組を進めました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員による事業所訪問は行わず、194の事業所に対し、郵送にて会員加入の依頼を行いました。

この外、自主財源としての後見報酬や上九の湯の施設利用料などを始め、行政などからの委託料、補助金、助成金などの財源確保に努めました。

・会費納入集計結果……地区社協及び市社協集約分の合計（過去3か年）

| 年 度 | 一般会員・特別会員 | | | | 法人会員 | | 団体会員 | | 合 計 | | | |
|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|
| | 市社協扱い | | 地区社協扱い | | | | | | | | | |
| | 納入額 (円) | 件 数 | 前年度比 | |
| | | | | | | | | | | | 納入額 (円) | 件 数 |
| R1 | 62,600 | 88 | 22,976,150 | 43,998 | 1,455,000 | 277 | 162,000 | 22 | 24,655,750 | 44,385 | △502,450 | △354 |
| R2 | 75,000 | 79 | 22,731,240 | 44,258 | 1,262,000 | 229 | 167,000 | 23 | 24,235,240 | 44,589 | △420,510 | 204 |
| R3 | 68,500 | 101 | 22,465,340 | 43,911 | 1,253,000 | 219 | 151,000 | 20 | 23,937,840 | 44,251 | △297,400 | △338 |

ウ 広報啓発活動の展開

(ア)「甲府市社会福祉功績者表彰式」の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「第45回甲府市社会福祉大会」の開催は中止とし、表彰式のみを行う「甲府市社会福祉功績者表彰式」を甲府市との共催で開催し、長年にわたり社会福祉に功績のあった方々を顕彰しました。

開催日 令和3年11月16日（火）

場 所 甲府市役所本庁舎 4階大会議室

顕彰者 表彰状41名・1団体、感謝状15名・49法人・1団体

(イ)こうふ社協だより（まごころ）の発行

広報紙の発行（年2回）を通じて、本協議会の業務内容や地域における活動の紹介、福祉サービス等の情報の発信を行いました。

市民の目線に立ち、地域福祉活動への関心を深められるよう、紙面構成に努めました。

(ウ)ホームページの充実とSNSを活用した情報発信

ホームページは事業等の情報を毎月更新するとともに、財政状況などの法人情報についても積極的に公開し、広報の充実に努めました。

また、SNSの活用については、LINEによる事業や各種サービスの情報提供を行いました。

(エ)創立70周年記念事業の実施

創立70周年を記念したDVDを作成し、甲府市内の小中学校や地区自治会連合会等に配布し、社会福祉協議会の活動の周知を行うとともに、社協だ

よりにおいて会長と甲府市長による「これからの社協の進むべき方向性や事業等について」対談を行いました。

(2) 会議の開催状況

ア 正副会長会議（3回開催）

理事会、評議員会に先立って、これらの会議に提案する議案などについて、正副会長による審議を行いました。

開催日 令和3年5月19日（火）、11月5日（金）、令和4年2月28日（金）

イ 理事会（4回開催）

日時 令和3年5月24日（月）

場所 甲府市中道公民館 会議室

議案 第1号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事選任候補者について
第2号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会監事選任候補者について
第3号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第4号 令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告について
第5号 令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会決算について
第6号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

日時 令和3年6月14日（月）

場所 書面による議案の同意

議案 第7号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について
第8号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について

日時 令和3年11月15日（月）午前10時

場所 甲府市総合市民会館 3階大会議室

議案 第9号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について
第10号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期（4月～9月）事業報告について
第11号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期（4月～9月）予算執行状況について
第12号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

日時 令和4年3月7日（月）

場所 書面による議案の同意

議案 第13号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員選任候補者の

推薦について

第14号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業計画
(案) について

第15号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会予算(案)
について

第16号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会役員等賠償責任保険
契約の締結について

第17号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員会の開催について

ウ 評議員会(3回開催)

日時 令和3年6月14日(月)

場所 書面による議案の同意

議案 第1号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会理事の選任について

第2号 社会福祉法人甲府市社会福祉協議会監事の選任について

第3号 令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業報告
について

第4号 令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会決算について

日時 令和3年11月22日(月) 午前10時

場所 甲府市総合市民会館 3階大会議室

議案 第5号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期
(4月～9月) 事業報告について

第6号 令和3年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会上半期
(4月～9月) 予算執行状況について

日時 令和4年3月14日(火)

場所 書面による議案の同意

議案 第7号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業計画
(案) について

第8号 令和4年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会予算(案)
について

エ 監査会(1回開催)

日時 令和3年5月13日(木) 午前10時

場所 男女共同参画センター

監査 (1)令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会事業監査

(2)令和2年度社会福祉法人甲府市社会福祉協議会会計監査

オ 評議員選任・解任委員会(3回開催)

日時 令和3年6月14日(月)

場所 書面による議題の同意

議 題 (1)社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員の選任について

日 時 令和3年11月15日(月)午前11時30分

場 所 甲府市総合市民会館 3階大会議室

議 題 (2)社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員の選任について

日 時 令和4年3月7日(月)

場 所 書面による議題の同意

議 題 (3)社会福祉法人甲府市社会福祉協議会評議員の選任について

カ 表彰等審査委員会の開催(2回開催)

日 時 令和3年7月8日(木)午後1時30分

場 所 男女共同参画センター

議 題 (1)全国社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について
(2)山梨県知事表彰等候補者の審査について

日 時 令和3年9月27日(月)午後1時30分

場 所 男女共同参画センター

議 題 (1)山梨県社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について
(2)甲府市社会福祉協議会会長表彰等候補者の審査について